

■ 天狗 ■====⇒三州横山話より



天狗のことを別に守護神と言います。騒々しいことを好み、金属製のものを打ち合わせるような音を特に喜ぶから、深山などで、夜そうした音をさせると、すぐ集まってくると言います。また、天狗にであったときは、何によらず汚いことをして、例えば草履に小便をかけて冠ったりすると効があると言います。獵師は、黄金の丸で撃てば勝つことが出来ると言っ、て、もし黄金の丸の持合わせがないときは、黄金の丸で撃とうと、口で言っただけでも天狗が怖れて逃げると言います。

天狗になっている人は何人か心当たりがありますが…。最近では本物の天狗を見かけた人の話も聞いたことはないし、山の天狗はもう絶滅してしまったのではないのでしょうか。昔の人は、天狗の話をして、自然に対して謙虚に畏れていないと、とんでもないしっぺ返しがかかるぞと自分を戒めていたんでしょうね。

山を追われた天狗は、人の心の中に棲みついてしまったのかも知れません。汚いことを嫌ったり、黄金を怖れる心が残っていればいいのですが…。